

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		音楽療育特化型事業所リズムストーリー西浦（放課後等デイサービス）				公表日	R8年 4月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		音楽療育プログラムを実施するにあたり、必要なスペースを確保している。	安全面に配慮しながら適切な環境を整えていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	音楽療育プログラムを実施するにあたり必要な人員を配置している。	時には人手不足をかんじるときがあるので安全面に配慮しながら適切な支援をこころがけていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		視覚支援を掲示したり、角にコーナーガードを付けている。	コーナーガードが不十分なきもあるので安全面に配慮した適切な設備を使用いたしていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		清掃を丁寧にチェックリストに記している。	毎日清掃、消毒を行い、清潔な環境づくりを心がけていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		テラスや面談室などへの使用を認めている。	面談室が使用できない際などテラスへ行きにくいのでロールカーテンなど目隠しを改善していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		日々のミーティングを大切にしている。	変更があれば随時更新し全員で共有していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表をホームページに掲載するとともに、職員間で共有している。	今後もお子様に寄り添った計画を策定いたします。ご不明な事柄に対し、ご相談を受けられるよういたしていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日々のミーティングを大切にしている。	話し合いの場での意見は考慮し改善していきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	音楽療育の母体となる音の森との業務改善の研修をうけている。	業務改善研修に基づき考慮、改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		研修動画を視聴し振り返る機会があり良い。	定期的な研修を行い資質の向上を図りたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		次週のプログラムの構成をする時間を設けリスト通信でのプログラム公表を行っている。	新しい曲や内容にも取り組んでいき、リスト通信での公表を分かりやすくしていきたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		複数の職員でアセスメントを行っている。	理解いただけるよう、適切なご説明を心がけながら、定期的な懇談以外にも随時相談に乗って行きたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援計画は職員間で目を通し疑問点などあれば責任者へ伝えている。	目標や支援内容を具体的にわかりやすく示し、全員が目を通せるようにしていきたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画に沿った内容をプログラムに取り入れている。	日誌を書く際に計画が目るようにし、日々計画に沿えるようにしていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		日々の記録を元に作成している。	プログラムの内容が変わることもあるので、その日のこどもの状態に添った支援をしていきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		段階を踏んだねらい、内容になっている。	保護者のお気持ちに寄り添った支援計画をたてるとともに支援に必要な内容を組み込んでいきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		プログラム立案の時間を設けチームで案を出し合いながら作成している。	余裕を持ってプログラムの決定をしていきたい。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		同じような取り組みをしているものもあるが子ども達の状況も見ながら考えている。	今後、検討していきたいです。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別と集団を組み合わせた療育を行っている。	体調やニーズに合わせ、迅速な対応が行えるようにしていきます。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝のミーティングにて情報共有を大切にしている。	連絡帳や送迎時に情報伝達ができるよう丁寧な伝達を心掛けています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		翌日にはなるが前日の療育を振り返る時間を作っている。	リスト通信を通じ、プログラムの内容や必要事項の発信にも力を入れていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		記録の抜けが無いかしっかり確認をしている。	日誌や専門の記録を細かく記入し、複数の目で抜けが無いよう見ていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		モニタリングに必要な子どもを共有したり、定期的に見なおしを行うことができている。	半年にの懇談以外にも、保護者の要望がある際には計画の見直しをしています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7		個別支援計画で組み合わせ計画に沿った支援を行っている。	支援計画を立てる際複数の目で確認するとともに、活動の際にも気を付けて声掛けしていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		指導員の声掛けで子どもが自己決定できるよう支援を行っている。	視覚支援を用いたり、言葉での選択が難しい際は選択できる環境を整えます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		子どもの状況を職員間で共有し管理者が参加している。	日程の調整をして1番わかる人ができるようにします。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		連携できる体制は整えている。	学校や保育園との話し合える時間を伸ばしていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		お迎え時間に遅れそうなときは素早く連絡をしている。	下校時刻などの情報はホームページで検索をかけるが乗っていない学校は電話確認などをしていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	送迎時に体調、連絡事項、困りごとなど聞くことでお話ししたり情報共有することで相互理解に努めている。	送迎時に先生とお話ししたりごまめに情報共有していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	日頃から支援記録を残し、移行する場合 に向け情報を提供できる体制を整えている。	まだないが、情報を提供していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	6	発達検査の結果や意見書の内容を支援に取り入れている。	送迎時にお話する程度なので、今後検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7	検討中です。	今後、検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	検討中です。	今後、検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		日々の送迎時や連絡帳でのコミュニケーションを大切に、連絡帳の返事忘れがないようにしている。	送迎時に状況やコンディションを詳しく伺ってきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	ホームページをもとに情報を得られるようにしている。	今後、検討していきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		連絡帳や送迎の際に様子を伝えあい、共通の理解を持てるようにしている。	重要事項説明書ののつった説明をしているがわからないところはもっと丁寧に説明していきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		懇談で家族の意見を伺う時間を作り、発達を考慮しながら計画をたてている。	もっと細かく家族の意向を確認する機会を設けていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		計画後保護者の方に目を通していただき署名捺印をいただいている。	得ているので今後も続けていきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		電話やラインでの相談に応じ支援の変更を加えるときは支援計画の変更を行っている。	お話できる時間をもっと増やしていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	5	今後検討していきたい。	保護者様の意向を考慮し地域支援につながるよう取り組みを検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情対応研修にも沿いながら対応したり職員間で共有している。	苦情のあったことの周知を徹底していきたい。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		活動内容をイラストも加えながら分かりやすく伝えている。	通信の内容を考慮し保護者の方が楽しんで見られるよう試行錯誤していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		配布物の管理にも気を付けている。	職員全員で留意していきたい。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		視覚支援を用いたり対応した内容を共有している。	送迎時の連絡だけでなく、ラインなども使って意思の疎通をはかしていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		今後、検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルは定期的に見なおし定期的に訓練や研修を行っている。	回数を増やしていけるよう検討していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		訓練で出た課題を考えられるようにしている。	回数を増やしていけるよう検討していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		子どもの情報や重要事項などをまとめた一覧表を掲示している。	服薬や予防接種の情報を目で見える化していきたい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		冷蔵庫にアレルギーなど注意すべき子どもの情報を掲示している。	医師の指示書に基づく対応ができるよう検討していきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		計画は定期的に見なおし確認をしている。	見なおす間隔を短くしたり、安全面なども考慮していきたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	定期的に訓練を行うとともに備品の確認をしている。	保護者への周知に力をいれていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		日々のミーティングにヒヤリハットを取り入れ背景や原因、対応に着目している。	ヒヤリを改善していけるよう取り組んでいきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的にテーマに添った研修をおこなっている。	回数を増やして研修していきたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		重要事項に記載し同意を得ている。	今後検討していきたい。